

令和 8 年度 第 2 回 富士市水道事業及び公共下水道事業経営審議会 会事録

審議会等の名称	富士市水道事業及び公共下水道事業経営審議会
庶務を担当する部課等	上下水道部上下水道経営課 企画総務担当 電話 67-2814
会議の開催の日時	令和 8 年 6 月 22 日（月）午後 1 時 30 分から午後 3 時 30 分
会議の開催の場所	富士市フィランセ西館 3 階 富士市男女共同参画センター 団体研修室
出席者（職・氏名）	（委員） 会長 小滝勝昭、副会長 東恵子、遠藤誠作、篠原丈治、入野一人、大石和儀、服部鷹彦、渡邊啓視、岩崎園江、櫻井裕美子、濱田江理、内野浩恵、鈴木順一朗、堀田響子、水野桂子 （事務局） 上下水道部長、上下水道経営課長、上下水道営業課長、水道維持課長、水道工務課長、下水道建設課長、下水道施設維持課長、生活排水対策課長、上下水道経営課調整主幹及び統括主幹、水道工務課統括主幹、水道維持課統括主幹
会議の内容	・ 会長挨拶 ・ 上下水道部長挨拶 ・ 議題 ・ 水道料金改定（案）について
配布資料（件目）	【当日配布】 ・ 次第 ・ 座席表 ・ 富士市の水 【事前配布】 （資料No. 5）水道事業会計収支予測（R13-16） （資料No. 6）公共下水道事業会計収支予測（R13-16） （資料No. 7）富士市水道料金算定基準 資料No. 2 「水道料金及び下水道使用料の改定について」の正誤表
審議の状況	富士市水道料金改定（案）について、事務局から富士市における水道事業の現状と課題について、管路老朽化対策、管路耐震化の進捗状況と令和 13 年度までの目標値及び労務単価と資材単価の高騰の状況、有収水量の減少について、管路のダウンサイジングによる削減や有収率向上対策業務の実施など経営改善に向けた取組の詳細な説明を行い、A 案～C 案の料金改定（案）の提示を行った。

	委員の皆様からは、災害時の断水のリスクを低くするために、お金をかけて管路の耐震化と老朽管の修繕を進めていただきたいという意見や、有収率向上を図るための漏水対策工事を官民でしっかり進めていくべきだという意見、隣接する富士宮市の水道料金との比較に対する質問など、活発な意見交換が行われた。 委員の皆様は、前回の講演を聞いて富士市水道事業が厳しい状況にあると認識されていたが、水道料金改定（案）について、水道事業を継続していくための財源確保の数値及び根拠、資材単価と労務単価の分析、前回の料金改定時における財政計画資料と今回の資料を比較してはという意見などがあり、次回審議会に資料を提出して再度審議することになった。 このことにより、今回の審議会ではA案～C案の料金改定（案）について、最適な案を選ぶということは難しく、多数決よりも各委員の意見が統一された形で進めるべきであるという意見があった。 次回の審議会では、A案～C案の料金改定（案）について継続審議をするということでした承された。
審議の結果	上記、審議の状況のとおり、水道料金改定（案）についてA案～C案について審議され、詳細な分析が必要という意見から資料を追加し、次回も水道料金改定（案）について、継続審議をすることになった。
備 考	